

「今金町防災を考えるつどい～災害に備えて～」

道内では、台風による浸水被害、北海道胆振東部地震による甚大な土砂災害等が発生しています。今金町では地域と共に防災に対して考え、一人ひとりが自助・共助の意識を日頃から高めるきっかけづくりとして「今金町防災を考えるつどい」を開催しました。今年は、避難場所への避難訓練のほか、洪水情報緊急速報メールの配信訓練を実施し迅速な行動が取れる訓練などを行いました。

- 開催日時 平成30年10月21日(日) 緊急速報メール配信：9:30 避難訓練：9:30～10:50
講演：11:00～12:10 炊き出し：12:10～13:00 災害対策車両の展示
- 実施場所 今金町立今金小学校
- 参加機関 主催：今金町 共催：自治会町内会連合会 協力：関係機関等11機関 約25名
- 参加者数 4地区町内会の町民：約85名

●「今金小学校」を避難場所に指定する地区の『避難訓練』

今年の避難訓練は、今金小学校を避難場所と指定する地区(曙町、東町、日の出町、光台)の住民を対象とし、今年の5月から整備した函館開発建設部による洪水情報緊急速報メールなどを合図に避難訓練を開始しました。



災害対策本部の設置



避難訓練



●講演「コミュニティタイムラインの必要性について」

今金河川事務所

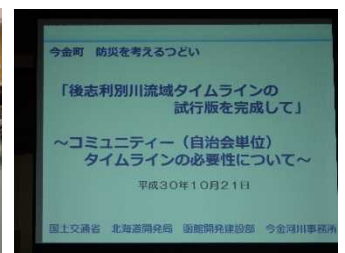
当日の来場者は約110名となり、近年の地球温暖化による大型台風や集中豪雨等による大水害や後志利別川流域で取り組んでいるタイムラインへの関心の高さが伺えました。

講演は、今金河川事務所の秋山所長が講師として行われ、後志利別川流域タイムライン試行版が完成して、今後の「コミュニティ(自治会単位)タイムラインの必要性について」と題して、①近年の気象と洪水の状況、②後志利別川流域タイムライン③コミュニティタイムラインの効果、④コミュニティタイムラインの全国事例を紹介しました。

また会場には、今年7月の流域タイムライン試行版完成式&檜山管内防災シンポジウムや平成29年9月台風18号洪水における美利河ダムの効果などに関するパネル展示も行われました。



講演会



秋山所長



パネル展示

●非常時の「炊き出し」

今金町赤十字奉仕団と今金女性会による、カレーライスの炊き出し150食分が、参加者への昼食として配布されました。



炊き出しの準備



炊き出しの配布



炊き出しの実食

●「災害対策車両」を展示

函館開発建設部では、毎年「今金町防災を考えるつどい」に、排水ポンプ車と照明車を展示し、避難訓練参加者や地域住民にPRしています。

見学者の中には、災害対策車両に乗車したり、車両の前で記念写真を撮影していました。



災害対策車両の展示